講義名	観光施設計画論			授業形態	
担当教員	山川　拓也	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 ４時限		
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	TOR285

主題と概要

一般的に観光地とは見なされないローカルな日常生活区域内で「観光としての人的な交流を創出すること」を計画・実践しようとする時に、そこで必要とされる視点・機能・アクションは何か。この問いへの答えを見出すには、観光の実体・実相をステレオタイプ的にイメージ化されたレンズで認識するのではなく、これまでと異なるレンズで視野広く捉えることが重要である。一般的に観光施設といえば、観光スポットにある観光客に向けての大がかりな集客施設などをイメージされるかもしれない。もちろんそれも立派な観光施設であることに間違いないが、非観光地であるローカルな日常生活区域内に同様の観光施設を新築することは様々な面から現実的と言えず、知恵を絞って考える必要がある。

上記を踏まえて展開される本科目では、ローカル区域内での持続可能性に配慮したコミュニティ・ベースド・ツーリズム【CBT：Community Based Tourism（地域が主体となった観光）】の基本と要諦を学び、CBTに取り組む観光施設事業者（ゲストハウス）と地域の融合・共創から成る「新しい観光価値」に実際に触れ、地域の観光事業者/地元住民/旅行者の各立場に沿ってCBTの本質を理解し、非観光地での交流創出に向けたマーケティング的方法論と観光施設計画について探究することを目的としている。

その学修目的のために、地元に根づいた活動者（アクター）による特別講義の他、フィールドワーク/議論/発表といったアクティブラーニング（能動的学修）の要素を取り入れ、複合的かつ多面的な理解が促されるように配慮している。

到達目標

本科目の到達目標を以下に示す。

①CBTの基本事項について「観光事業者」「地元住民」「旅行者」の各立場から理解できるようになる。

②地域資源の有機的な結合や地域内の連携等によるCBTをベースとする観光施設計画や観光マーケティングの在り方に関して、自らの考えによる提案や提言類を表現して論理的に説明できるようになる。

提出課題

①毎回の受講後に提出を求める「リアクションペーパー」（Campus-Xsで実施,）

②グループワークによるプレゼンテーション資料（power point、その他）

③最終論述課題（レポート）　※詳細については、第15回目の授業で説明する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

「リアクションペーパー」の記述で解説を加える必要を認めたものは、授業内で適宜フィードバックをおこなう。

評価の基準

下記による総合評価とする。

①毎回の授業後の「リアクションペーパー」への取り組みと提出状況：１５％
②フィールドワーク後に視聴を指示する動画教材に関する「リアクションペーパー」：５％
③演習課題に対する主体性と協力態度、調査・分析・発表の練度（論理・志向・理解・内容・デザイン）：３０％
④教科書・参考図書の内容ならびに科目主旨に沿う形による最終論述課題（レポート）の内容：５０％

＊フィールドワーク（事前準備講義を含む）の全部または一部を欠席した場合、単位不認定とする。（失格/E）
　（ただし、新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者等に指定され、一時的に通学が禁止となった学生への対応については別途定める）
＊累積の欠席回数が５回以上（５回を含む）になった場合、評価を受ける資格がなくなる。（失格/E）
＊遅刻・早退（時間の長短を問わない）は、１回につき0.5回の欠席として算入する。
＊スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。

履修にあたっての注意・助言他

・本科目を履修する前提として、「観光文化論」（前期配当）を受講済であることが望ましい。
・授業の多くを「対面グループワーク形式」で進めることから、各自の責任ある取り組みが必須となる。
・対面グループワーク形式を苦手とする（あるいは希望しない）学生には、本科目の履修を勧めない。
・１回目の授業において本科目の主旨を説明してグループ分けをおこなうので、必ず出席すること。

【重要：フィールドワーク演習について】
・10/19に事前準備講義、10/24（土）の終日（09:30-15:30）でフィールドワークを実施する。
・到達目標の観点から、フィールドワークならびに事前準備講義への参加は必須とする。（不参加の場合→単位不認定）
・集合場所までの移動交通費・昼食代については、各自負担とする。

教科書

.ゲストハウスがまちを変える: エリアの価値を高めるローカルビジネス.	渡邊崇志・前田有佳利	学芸出版社	2530	9784761528140

参考図書

.「無理しない」観光:価値と多様性の再発見.	福井一喜	ミネルヴァ書房	3080	9784623092321
.まちの魅力を引き出す編集力: 地域の“面白さ”を発掘して、観光商品化&プロデュース.	桜井篤	同友館	1760	9784496055416
.マニア流！まちを楽しむ「別視点」入門.	合同会社別視点（編集）	学芸出版社	2200	9784761528430

その他

プリント資料：講義形態の際には、講義レジュメや資料類を必要に応じて配布する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	○	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション	○	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考

・本科目は「定員設定科目」（選考有）につき、受講希望に際しては教務部の指示に従って申請すること。
・科目の進捗状況等によって授業の内容や順番を変更する場合があり、その際には事前に告知する。
・フィールドワークは、受け入れ先の都合等により変更や中止となる場合がある。その場合、授業計画を見直し、代替策を提示する。
・第5回目の授業後に「授業改善アンケート」／第15回目の授業内で「学びの振り返りアンケート」を実施する。

授業計画

⑴【講義】受講ガイダンス（科目主旨ならびに進行方法・評価方法等の説明、グループワークのチーム分け）

予習内容：シラバスを通読し、授業内容の大枠を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（90分）

⑵【講義】CBTの要諦を理解する①－CBT概念の基本と「持続可能な観光」おけるCBTの位置づけ

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大枠を把握して講義に臨む。（90分）
復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（120分）

⑶【講義】CBTの要諦を理解する②－地域で実践される「まちづくり」との関係

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大枠を把握して講義に臨む。（90分）
復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（120分）

⑷【FW事前準備講義】CBTの実践者（エリアマネジメント）から学ぶ－(株)宿場ＪＡＰＡＮ代表 渡邉崇志氏

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大枠を把握して講義に臨む。（90分）
復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（120分）

*****(5)(6)(7)(8)は同日（10/24－土曜日）の09:30～15:30の予定で実施する。（現地集合・現地解散）*****

⑸【FW演習】CBTの実践者（観光事業者）から学ぶ－灘区で地域融合型ゲストハウスを運営する朴徹雄氏
⑹【FW演習】水道筋商店街・灘中央市場周辺（神戸市灘区）でのフィールドワーク（まち歩きツアーの体験）
⑺【FW演習】水道筋商店街・灘中央市場周辺（神戸市灘区）でのフィールドワーク（課題に対する現地調査）
⑻【FW演習】水道筋商店街・灘中央市場周辺（神戸市灘区）でのフィールドワーク（ディスカッション）

⇒フィールドワークでは、学生を「観光体験に異日常性や地域と融合する感覚を求める旅行者」と仮定し、「具体的にどのようなコンテンツやプログラムがあると旅行者が求めるような感覚（＝ニーズ）を刺激し、交流を越える関係の構築に向けて発展させていくことができるのか」という事業者課題・地域課題について、旅行者の立場から実践的に考える。

予習内容：教科書の指定部分を通読した上で、フィールドワーク先の地域情報を事前収集する。（180分）
復習内容：①当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。
　　②指定する動画課題の視聴後の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（①②計300分）

⑼【演習（学内）】 フィールドワークの振り返り、調査結果の情報整理

予習内容：フィールドワークで各自が得た情報をあらかじめ整理し、グループワークに備える。（150分）
復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。（210分）

⑽【演習（学内）】課題に対するグループ内での検討①

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。（150分）
復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。（210分）

⑾【演習（学内）】課題に対するグループ内での検討②

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。（150分）
復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。（210分）

⑿【演習（学内）】成果発表に向けての取りまとめ・準備①

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。（150分）
復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。（210分）

⒀【演習（学内）】成果発表に向けての取りまとめ・準備②

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。（150分）
復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。（210分）

⒁【演習（学内）】最終プレゼンテーション（成果発表）と外部関係者講評

予習内容：プレゼンテーションの台本を準備し、発表に備えて練習しておく。（240分）
復習内容：外部関係者の講評をもとに当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（120分）

⒂【講義】科目のまとめ／学びの振り返り

予習内容：これまでの学修について、講義資料等をもとに整理しておく。（90分）
復習内容：科目内容の理解を確実なものにし、科目の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。（90分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目の目標に到達することは、現代観光における事象を理解する上で必要となる知識を修得して(目標①)、観光や地域に関するマーケティングやマネジメントといった事柄への連続性・発展性をもって分析・考察できるようになる(目標②)ことであり、本学ならびに学部・学科が定めるDP（卒業認定・学位授与の方針）と関連する。

・本科目の主題と概要に具体的に書き示したような「観光における財やサービスの流通構造の変化に対する理解を深める」ことにより、本学ならびに学部・学科が定めるDPに貢献する。

・到達目標①②の達成により、学科共通DPにある「観光事業の仕組みや経営構造を把握、理解する思考力」「課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力」の涵養に貢献する。

・到達目標①②を達成することは、コースDPにある「旅行業、交通運輸業あるいは自治体や地域の観光団体での就業に必要な知識や技術の修得」「課題を解決し、修得した知識や技術を実践すること」に貢献する。

・到達目標①②を達成することは、コースDPにある「自ら考える力を発揮し、観光地づくりや観光ビジネスに係わる新たな取り組みへの提案を行うこと」に貢献する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・グループワーク実施時、教員は助言や各グループとの意見交換等を実施し、双方向性の確保に努める。

・授業後に実施する「リアクションペーパー」等の課題への取り組みにおいて、LMS（Campus-Xs）を活用する。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
旅行業および旅行サービス手配業の実務経験（欧州を中心とする海外団体旅行の企画造成・営業・添乗・海外駐在、市場戦略策定）で得た知識・知見を活用しつつ、本科目の目標に学生が到達できるように努める。